

豊中市安心生活創造事業 ご案内

安心生活創造事業は、平成 21 年度よりスタートする厚生労働省の国庫補助事業で、ひとり暮らし高齢者などが地域で安心して暮らせるように、見守り・買い物支援を行います。

全国 53 市町村でモデル事業として実施され、豊中市もその一つに選ばれています。豊中市では、豊中市社会福祉協議会が豊中市より委託を受けて事業実施します。



<お問合せ先>

豊中市社会福祉協議会

豊中市岡上の町2-1-15 電話 6848-1279

豊中市健康福祉部地域福祉課

豊中市中桜塚3-1-1 電話 6858-2219

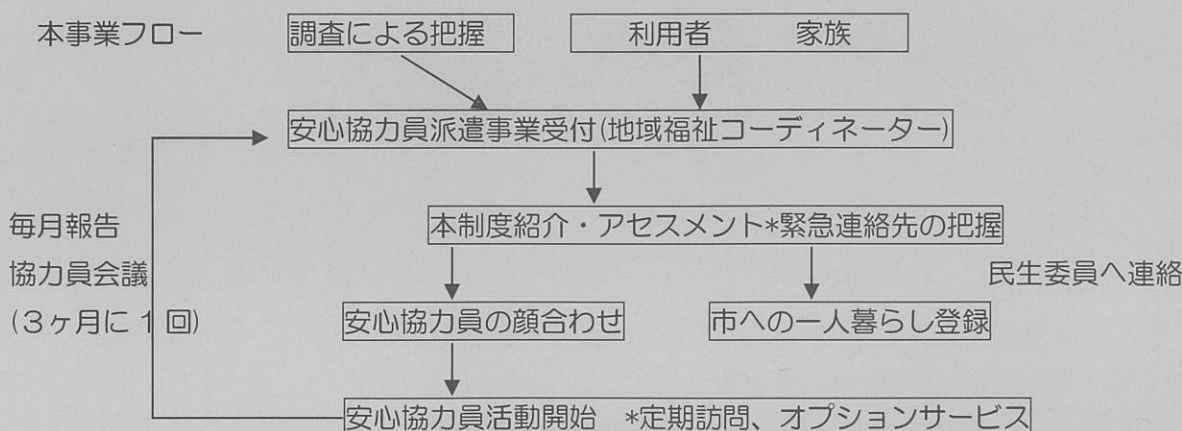
国の安心生活創造事業の目指すもの・・・

平成20年3月に国の研究会がまとめた「これからの地域福祉のあり方に関する研究会報告書」において、地域福祉の新たな支え合いの確立が重要とされ、これを進めるため、平成21年度より国のモデル事業として「安心生活創造事業」が創設されました。この事業は、全国53か所の自治体をモデル市町村(大阪では豊中市)として指定し、国と協働で、事業の効果を検証し、全国に情報発信するというものです。

豊中市では社会福祉協議会が受託して実施します。事業概要は、①一定の圏域の一人暮らし高齢者等で支援を必要とする人をもれなくニーズ把握し、②地域福祉コーディネーターを配置して、見守りや買い物支援などを実施できる体制づくりを行うとともに、③それを支える安定的な地域の自主財源の確保づくり(第4のポケット)を目指すというものです。

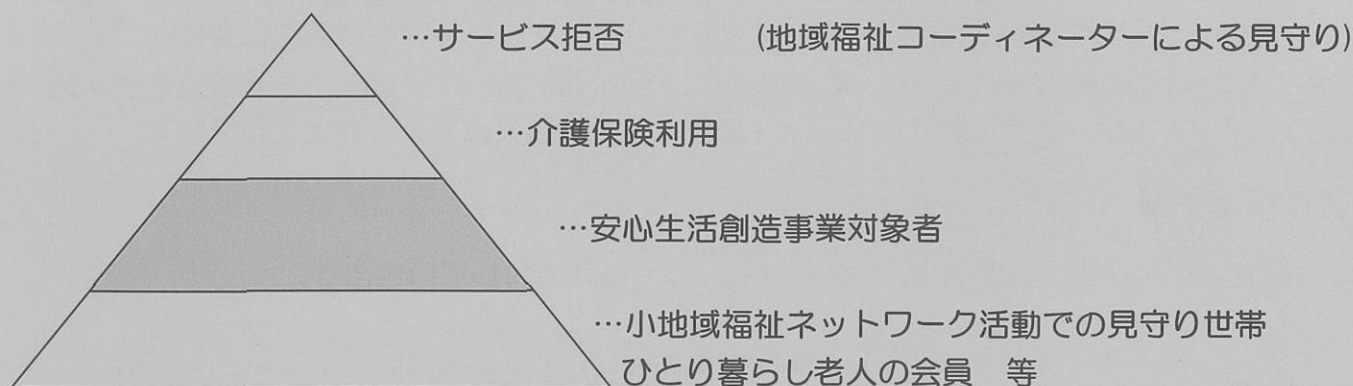
豊中での安心協力員派遣事業の概要

豊中ではこれまでの小地域福祉ネットワーク活動を通じて、多くの一人暮らし高齢者を支える仕組みを作ってきましたが、都市型で、家族もなく、地域との付き合いを好まない層へのアプローチがなかなか進まないという課題がありました。そこで、今回のこの事業を受けたことで、11月に①75歳以上で市に一人暮らし世帯で、介護保険の要介護認定の申請を行っていない約7500の世帯を対象に、民生・児童委員の協力のもとで、アンケート調査を行い、実態把握を行います。②そこで、普段は、元気に暮らしているが知り合いがなく、緊急時(病気など)に不安を抱える世帯を対象に圏域を担当する地域福祉コーディネーター(社協職員)が聞き取り調査を行い、必要に応じて、一定の研修を修了した「安心協力員」をします。(有料)③さらに、安心協力員は、定期訪問を行い、顔なじみになりながら、民生委員や、校区福祉委員会などの地域情報や、買い物や宅配など一人暮らし高齢者向けの事業などの紹介も行っていきます。また、病気の際や、入院時などの緊急支援も行います。ただし、恒常的なサービスが必要な場合は、介護保険制度などを紹介することになります。④この制度の利用を希望しない世帯には、地域福祉コーディネーターが安否確認を続け支援の方法を検討していきます。



* 当面、高齢化率の高い、北東部圏域と南部圏域をモデル的に実施していく。

豊中の安心生活創造事業の対象者は…



*当面 75 歳以上の一人暮らし高齢者で介護保険の要介護認定の申請をしていない人の中で、希望する人。今後、対象年齢や要件の拡大、民間事業も含めた総合的な事業展開を目指す

豊中の安心生活創造事業の 4 つの展開

1. 安心協力員派遣事業

ひとり暮らしで生活に不安がある高齢者等の自宅を、安心協力員が定期的に訪問して顔なじみの関係をつくるとともに、緊急時の支援や、ひとり暮らしを支援する様々な事業などを紹介していきます。(登録料：年間 2,000 円)

- ★基本サービス 月一回の定期訪問を行い情報提供などを行います。(一回 800 円)
地域福祉活動や公的サービスの紹介など
- ★有料サービス (必要に応じて)
 - ・急病時の緊急の買物のお手伝い
 - ・入院時の手続きや連絡の手助け
 - ・緊急通報システム利用時の鍵預かり・・・など

*本制度の利用を希望しない高齢者で、支援が必要だと判断した場合は、地域福祉コーディネーターが訪問を行い適切なサービスへとつないでいきます。

2. ひとり暮らし応援事業者のネットワーク化と紹介 (事業者には一人暮らし応援ステッカーを配布)

新聞配達や宅配事業、郵便、電気小売業店など一人暮らし高齢者を支える事業所との提携やネットワークを作り、まちぐるみで見守る体制をつくります

新聞配達、牛乳配達、ネットマーケット、生協個人宅配、郵便、関電、水道メーター検査、ヤクルト、電気小売業者などで協賛いただいた企業を対象に事業者登録いただき、年数回全体会に参加いただき気になる世帯の発見と連絡をいただくとともに、ひとり暮らしを支援する事業リストの作成と紹介

3.地域福祉活動との連携

本事業と校区福祉委員会や民生委員の小地域福祉ネットワーク活動事業は密接に関係しており、このような活動と連携を図りながら、地域のつながりの再構築を目指します。(見守り活動や会食会、ふれあいサロンなど地域活動の紹介、ひとり暮らし老人会の紹介などを行います)

4.第4のポケットづくり

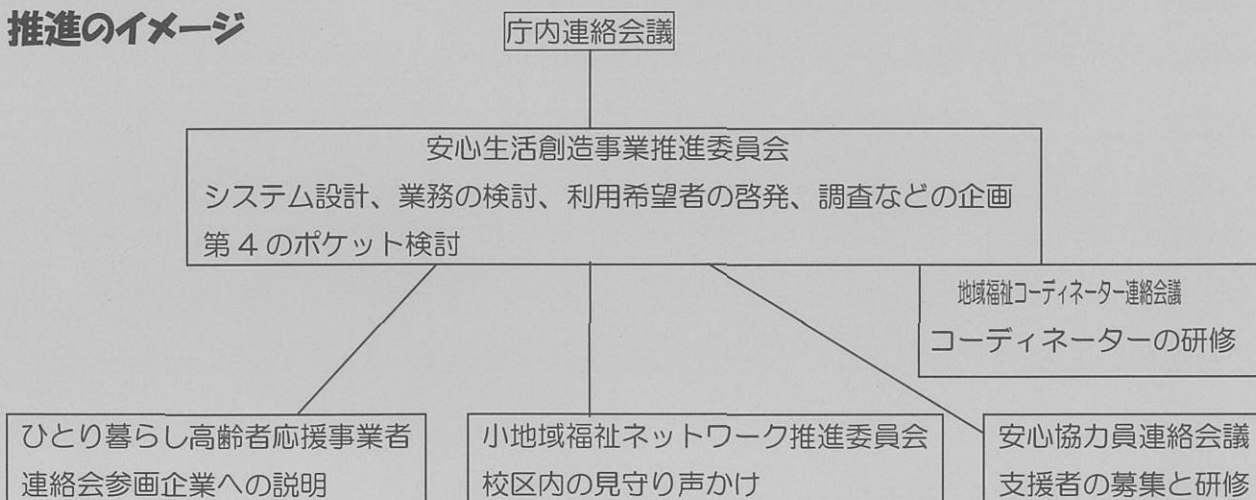
この事業を安定的に支える財源(第4のポケット)づくりを検討していきます。

推進体制

この事業を推進していくために以下の委員会などをもって事業を創造推進していきます。

- (1) 庁内連絡会議 (事務局:市地域福祉課)
地域福祉課、高齢介護課、コミュニティ政策室、地域経済振興室、消防、社会福祉協議会(オブザーバー)
〈順不同〉
- (2) 本事業推進委員会 (事務局:市社会福祉協議会)…本事業の企画・運営
V ネット豊中、一人暮らし老人の会連絡会、地域包括支援センター、共同募金会、商工会議所(商店街連合会、小売市場連合会)介護保険事業者連絡会(夜間対応型訪問介護、小規模多機能施設)、校区福祉委員会、民生委員、ボランティア、行政(高齢福祉、地域福祉、地域経済振興室)消防、警察、学識経験者
〈順不同〉
- (3) ひとり暮らし高齢者応援事業者連絡会 …ネットワーク作り
コンビニ、新聞配達、牛乳配達、配食事業所、個人宅配、郵便、関電、水道メーター検査、乳酸菌飲料配達、電気小売業者、商店街、小売市場などで市内で協賛いただいた企業 〈順不同〉
- (4) 安心協力員連絡会議 協力員による連絡会議(協力員の研修や情報交換などの場)

推進のイメージ



発行: 社会福祉法人豊中市社会福祉協議会